

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	3. 防犯活動等事務費		
項	1. 総務管理費	細事業名	2. 防犯意識啓発費		
目	21. 諸費	担当課・係	市民活動推進課 (執行課:)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	360	要 求									360
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	水と緑に囲まれた、快適で安心して暮らせるまちづくり/安心して暮らせるまちづくり/警察等と連携し、地域の自主防							
	【防犯意識の啓発に関する業務】	施策体系コード	02-04-01-10-10			事業番号	60-1			
	・県警だより、犯罪発生状況のチラシ等の世帯回覧を行います。	総事業費	1,270千円			事業期間	平成18年度～平成22年度			
	・自主防犯組織や関係機関との協働による、防犯キャンペーン等を実施します。	年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度			
			360	95	360	95	360			

(事業実施に関する根拠法令)
 佐倉市犯罪のない安心して暮らせるまちづくり条例
 佐倉市犯罪のない安心して暮らせるまちづくり条例施行規則

< 事業に関する説明 >

(事業の説明)	(事業の目的)	(事業の効果)
・自治会・町内会等において実際に防犯活動に携わるリーダーを対象とした研修会を実施する。 ・防犯に関する市民の意識を上げるため、防犯キャンペーンを地域の自主防犯団体、佐倉警察署及び防犯組合連合会の協力も得て、市内2箇所を実施する。	・地域の自主防犯活動のリーダーとして必要な知識を身につけるとともに、防犯活動を通し、地域コミュニティの大切さや市民協働に関する理解を深める。 ・関係諸団体等との協力により、防犯キャンペーンを実施することで、市民に対して防犯意識の高揚を図る。また、各種団体が連携・協力し、防犯活動に取り組むことの意義や必要性を深める。	・防犯活動のリーダーとして求められる知識を身につけることにより、地域における自主防犯パトロール等の効果的な推進が図られるだけでなく、地域コミュニティのあり方についても理解が深まる。 ・関係団体等との協働による防犯キャンペーンを実施することにより、市民自らも自己防衛に努めるなどにより、防犯意識の高揚を図り、地域防犯活動の理解と協力を得ることができる。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)
・市内には約240の自治会・町内会等があり、地域防犯活動に対する理解や取り組みもまちまちである。その点を勘案し、研修会の内容や講演(講師)を検討する必要がある。 ・防犯キャンペーンの実施については、青少年の健全育成・安全確保の観点から、関係部署や青少年団体に対しても、理解と協力が得られるよう努める必要がある。	・平成19年度の研修会は制度の見直しにより、地域防犯活動団体の紹介と市内における犯罪発生状況の説明を主に行なったが、平成20年度については、学識者による特別講演を主とする内容を予定している。内容(講師の選定等)については、警察署や関係団体と調整を図りながら、検討するものとする。 ・キャンペーンの実施にあたっては、関係団体からも意見を聴きながら市のホームページも活用するなど効果的な実施に努める。	・防犯リーダー研修会は、地域住民が自主防犯活動の必要性や活動におけるアドバイス等について、専門家の話を受けることができる数少ない事業であり、受講者や関係団体等からも好評を得ている事業である。 ・防犯キャンペーンについては、市民の防犯意識の高揚を図るとともに、地域防犯活動に対する理解と協力が得られる有効な施策である。